

びふか

# 議会

## です

### こんにちは

2004 / 4

第49号

この議会広報誌は再生紙を使用しています



小さな瞳が大きな希望にあふれています

《美深幼稚園入園式の一コマ》

主 な 内 容	第1回定例会	新年度予算総額74億1186万円を可決	2～3P
		条例改正	4～7P
		補正予算・請願・意見書・選挙管理委員選挙	8～9P
		一般質問 4氏が登壇	10～12P
	第1回臨時会	条例の一部改正・補正予算	12P
	函岳のめ・議員投稿～倉兼議員		13P
	平成16年度予算特別委員会～質疑		14～17P
	委員会レポート		18～19P
私からのメッセージ	菅野福義さん 荒谷和江さん	20P	

平成16年度予算（7会計総額）

第1回 定例会

# 74億1186万円を可決

前年対比2.8%減



## 厳しい財政、緊縮予算に

地方交付税大幅減額が要因

（前年比2億300万円減）

平成16年第1回定例会は、3月8日から19日までの日程で開かれ、平成15年度一般会計補正予算、各特別会計補正予算、平成16年度一般会計予算、各特別会計予算、条例の制定・一部改正・廃止、意見書案、請願書などが審議され、白熱した論戦のなか、それぞれ原案どおり可決された。  
一般質問は4氏が登壇し、理事者側と論戦を繰り広げた。

一般会計は

# 48億200万円

前年対比5.9%減

特別会計

国民健康保険特別会計	6億8,807万円	
老人保健特別会計	7億6,465万円	
介護保険特別会計	保険事業 助定	4億3,347万円
	介護サービス 事業助定	2億4,704万円
簡易水道事業特別会計	4,028万円	
下水道事業特別会計	2億6,583万円	
水道事業会計	1億7,052万円	

『議会ですこんにちは』が  
ホームページに掲載されています。  
ホームページアドレス  
<http://www.town.bifuka.hokkaido.jp>

平成16年度  
一般会計予算を  
見てみよう

議会費

道外研修を取りやめるなど前年比1・6%の減としている。

総務費

高齢者の方や他町村からの転入者等に対し、一箇所で手続きができるよう総合窓口の開設に521万円をかけて設置する。

また、合併対策として行政推進費も計上している。

民生費

のぞみ学園の生ごみ処理施設整備に補助、特別養護老人ホームの外壁等の改修。



新しく次世代育成支援行動計画の策定対策費も盛り込まれている。

衛生費

6月から始まるゴミ有料化にむけて有料袋販売業務委託料を計上。

また、収集業務増にかかる委託料3099万円を計上。

国保会計への繰出金として国保税軽減分1700万円を措置している。

労働費

労働団体に対する補助を継続するなど、ほぼ前年同額。

農林産業費

新規に土づくりの推進とアスパラの減収に伴う対策として、基幹野菜振興特別対策事業補助金346万円を計上、肉牛農家の経営改善を図るため緊急対策資金貸付にかかる利子補給金を措置している。

昨年まで予算措置された有機農産物産地づくり促進事業補助金は、3分の1補助に形を変え継続しているが総体に予算は大きく減額されている。

林業関係は、美深町21世

紀北の森づくり推進事業補助金に1088万円を計上。

町有林森林空間環境整備事業委託料に340万円を措置している。

本年も旧天木所有の山林購入の借入れ補助148万円を計上、この補助は平成23年度まで継続。

商工費

個店近代化事業補助金に1118万円を計上し商店街の活性化を支援する。

びふかアイランド管理費のなかで、温泉の入り込み客増のためにパークゴルフ場整備費（新設の18ホール）の予算措置しているが、今後十分な協議をして町民に理解のされるかたちを示すとしている。

土木費

新規に地域活性化基盤総合整備事業に5000万円を計上し美深駅東地区12区画、1・3haの整備を行う。

また、克雪推進条例制定に伴い克雪推進事業補助金が予算措置されている。

これは、いままでの定住化促進事業に変わるもので、融雪槽、融雪機、排雪ダンブ利用にかかる補助である。

公営住宅建設工事は、昨年に引き続き東団地に3棟6戸、ひまわり団地に2棟4戸が建設される。

消防費

ほぼ前年同額で、上川北部消防事務組合に負担金として2億454万円を計上している。

教育費

本年から教育施設整備基本構想策定のために、学校施設のあり方、人口や児童数、都市計画の中の学校配置について調査するためにコンサルタント会社に委託

するもので300万円を予算計上している。

また、スクールの老朽化に伴い新規購入費1230万円を計上している。

公債費

前年比6・5%増であり、償還額のピークを迎えている。

一般会計に占める割合は24・2%となり、財政状況の厳しさを象徴している。

職員給与費  
欠員の不補充、期末手当の引き下げ等により前年比5・7%の減となっている。

平成16年度一般会計(歳出)

科目	H16年度予算額	前年度予算(6月補正後)	前年度対比(%)
1 議会費	6,659万円	6,769万円	98.4
2 総務費	1億7,831万円	2億2,285万円	80.0
3 民生費	5億2,957万円	5億2,514万円	100.8
4 衛生費	3億4,574万円	5億185万円	68.9
5 労働費	1,111万円	1,124万円	98.8
6 農林産業費	2億8,515万円	2億9,559万円	96.5
7 商工費	1億3,244万円	1億4,568万円	90.9
8 土木費	6億8,932万円	7億3,366万円	94.0
9 消防費	2億463万円	2億597万円	99.4
10 教育費	2億9,313万円	3億4,532万円	94.9
11 災害復旧費	203万円	204万円	99.5
12 公債費	11億6,227万円	10億9,111万円	106.5
13 職員給与費	8億9,471万円	9億4,913万円	94.3
14 予備費	700万円	700万円	100.0
歳出合計	48億200万円	51億427万円	94.1

# ごみ・高齢者パス・幼稚園保育料の改正

## 財政健全化に求められる住民の協力



### 条例改正・制定

第1回定例会で提出された議案のうち条例の制定は1件、一部改正は8件、廃止1件の計10件の議案が審議され、いずれも原案どおり可決された。新たに制定された『美深町克雪推進条例』は、冬の快適な生活のための推進に補助・助成を行おうというもの。8件の条例一部改正の多くは、厳しい町財政の中で負担のあり方を見直す必要性から提案されたもの。その他に、町道路線の認定・変更・廃止についても提案があり、原案可決された。

美深町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について

この条例案は、平成16年1月26日の第1回臨時会に提案され、社会文教常任委

員会に付託、閉会中に委員会が審査がなされ、今議会に委員会報告を受けて審議、原案どおり可決されたものである。

改正の趣旨と主な点は、ごみの処理経費の公平な受益者負担をすることでごみの減量につなげようというもの、住民負担は毎年1億円ほどかかる処理経費の25%程度。(賛成多数)

美深町克雪推進条例の制定について

この条例は、時限立法としてあった「定住環境促進条例」の期限失効に伴い、雪対策部分を新たな条例として制定したもので、融雪施設設置支援事業・排雪ダンプ助成事業に従来と同じ支援を続けることで冬の雪処理対策・快適な環境づくりに一役立てようというも



冬の暮らしに欠かせない排雪作業

の。産業建設常任委員会に付託、委員会報告のとおり原案可決された。

質問 克雪推進事業(融雪槽・融雪機・排雪ダンプ)の過去5年間の利用実績は。

産業建設常任委員長 融雪槽3件・75万円、融雪機9件・227万円、ロードヒーター12件・363万円、排雪ダンプ276件・55万円となっている。

質問者 山口議員  
(全員賛成)



高齢者の無料パスにも手数料

美深町手数料徴収条例の一部改正について

この条例は、行政改革推進計画に基づき、高齢者のバス助成が従来無料であったものを交付手数料として負担していただくことで事業の継続を図り、高齢者の社会参加の促進と福祉の増進を図ることを目的に提案されたものである。

質問 70歳以上の名士バスの無料バス交付手数料2000円の設定基準とその根拠を。

また、実施時期を10月1日としているが、それまでの間に反対の意見が出た場合、再考する考えは。

保健福祉課長 この事業に400万円の支出をしており、まず4分の1の1000万円を歳入として算定。

再考する考えはない。

質問 この制度のもとでの性格は、高齢者の運動促進・健康促進・社会参加など社会的な意義をふまえて発足した制度。

社会参加など本来の考え方・目的に対する町長の考え方は。

町長 基本的には、当初あらゆるものを無料にして社会参加していただいたが、町内の不均衡が生じてきた。

一部負担することで町政に参加しているという気持ちが見れてくると思う。

質問 高齢者の組織(老人クラブ連合会)との相談があったのか。

免除規定を設ける考えはあるのか。

保健福祉課長 老連の会長・役員と直接相談した。

一部負担については、一定の理解を得ている。

町長 免除規定は、手数料条例のなかにはある。

質問 利用者の減少にならないか。

助役 10月までかけて、減少しないように趣旨を説明していきたい。

質問 その他の手数料が3000円なのにバスの証明書発行手数料が2000円はおかしい。利用料として負担するならいいが。

スクールバスの空き時間利用を考えては。

保健福祉課長 スクールバスの利用については、無理

という判断から具体的な協議はしていない。

美深町がバス料金を徴収することが不可能なため、手数料とした。

質問 住民を交えて事前にしっかり話し合いをしなかった。

これからは、先に住民と議論するとスムーズに出来るのではないか。

助役 財政の厳しい時期に、高齢者には一部負担してい

ただき今までどおり無料化の施策はとっていききたい。

住民の意見を後手に回っているという指摘だが、そうは考えていない。

自治会や老連にはご理解をいただいていた。

町の財政危機にはこの程度の負担はやむを得ないという意見も頂いている。

質問者 山口、小田中、南、越智、藤守議員

(賛成多数)

討論

山口議員から反対討論があり、その内容は「従前の無料パスによって高齢者の健康の保持、向上に役立ってきたことも事実であり、社会参加が促進されてきた。

また、福祉バスの活用も必要である。説明が一方的で住民の意見を聞くという姿勢についてはほとんど努力をしない。

その2点について指摘をして、この条例の一部改正について理事者に撤回を求めるもの。」

諸岡議員から賛成討論があり、その内容は「町には財政を絡めた問題が山積している。高齢者バスの助成事業の一部を負担し、事業を継続させるものであるから社会参加を推進する中で支援対策であり、老連等との話し合いもしているし、その議論の中で判断だと思ふ。今日の美深町の財政を理解する中から当然町民の理解が得られると思う。」というもの。採決では、賛成多数で原案可決された。

特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償並びに臨時の委員等の実費弁償に関する条例の一部改正について

選挙人の投票しやすい環境を整えるため、不在者投票制度を改め「期日前投票制度」の創設という公職選挙法の一部改正に伴い、非常勤職員を追加、原案どおり可決された。

(全員賛成)

美深町立幼稚園保育料・入園料徴収条例の一部改正について

町立幼稚園の入園料が子育て支援の観点から廃止され、保育料を月額5000円から6100円に引き上げる改正内容であり、原案どおり可決された。

質問 保育料6100円への増額と入園料の廃止について、金額の根拠と、年間に見ると保護者負担が増額になるが、その考え方は。

教育次長 保育料については、交付税算定において16年は国の基準が6100円となっていることからその

金額を反映させる。

入園料については、少子化の流れ、子育て支援の観点から政策的に廃止している。

質問 今回、国並みに引き上げようとしている。

子育て支援対策を新たに取り組もうとしている町村もある。

美深町はそれに逆行しているのでは。

教育次長 対前年で見るとそう見えるが、幼稚園は教育としても力を入れている。

これからは、経常的経費は確保していく考えは理解していただきたい。

収入が低い部分には国からの補助制度もある。

質問 幼稚園保育料について、美深町こどもすこやかプランとの関連を説明いただきたい。

教育次長 すこやかプランには、幼稚園の保育料についてはまだ触れていない。

ご指摘の部分は今後の見直しの段階での検討課題と

思う。

質問 次世代育成支援行動計画と幼稚園の保育料についての関連を伺う。

教育次長 次世代対策のプランのすすめは、まだ具体的に担当と相談していない

ので、今後負担いただくものと支援していく部分との

考え方を明確に持っていないかなければならない。

質問 金額的に年間での負担増と受け取られてしまう

が、次世代育成支援行動計画での「子供たちを安心して

生み育てられる環境づくりの推進を図っていく」と

いう言葉との整合性をどのように考えているか。

教育次長 まず、保育料・入園料についても共に一定

の負担を頂くことを説明しなければならぬ。

町で今やれる軽減措置として入園料を軽減しますという

ことで理解していただきたい。

質問 支援の部分と負担の

部分とを一気にやろうとしていることが、少し無理があるのではないか。

近い将来の幼保一元化に向けた中の金額をならすという議論をする人もいる

が。

教育次長 ならずということとは考えていない。

保育所保育料と幼稚園の保育料の算定は制度がまったく違うので、幼保一元化を

考えての改正の提案ではない。

質問 少子高齢化が大きな問題としてとりあげられている中、全てを削減なり縮

小という考えに問題。

子供を抱える家庭に対し

質問 支援の部分と負担の



て、緩和というか理解を得られるような仕組みをどう作っていくか。

教育次長 政策的な部分もあり、あくまでも交付税の算定基礎でもあるので一方では努力しなければならぬ。

しかし少子化・子育て支援措置の観点から政策的に下げる。

お金のことだけで言えば上がるのは事実だが、もっと上げなければならぬ部分もあるということをご理解いただきたい。

質問 なぜ画一的に地方交付税の算定額を目安としてこの改正をしなければならぬのか。

ここでもう少し英断的な考え方が出来なかったのか。教育長 国からの依存財源で町の財政を賄っているということを考えれば、地方交付税の算定額を基本に考えることが妥当かと内部検討した。

受益者負担ということを中心に考えながら交付税算入額を最低守っていききたい。質問 今後、どのような子育て支援をしていくのか考え



があるのか。

教育長 具体的には今のところないが、14年度から実施している預かり保育は、まったく保育料を頂かずに実施している。

町長 本年度は次世代育成支援行動計画を策定する年になっていくことから、保育料ばかりではなくて幼稚園あるいは子育ての支援対策について総合的な考え方でこれからまとめていかなければならないというふうな認識を持っている。

これらのことを含めて十分説明出来るような検討を加えながらこれから諸施策

を考えていきたい。

今回の保育料の改正については、時節柄いろいろなものが増えつつあるが、ご理解をいただきたい。

質問 次世代育成の支援行動計画は、今年度策定期間としているが、実施はいつからなのか、期限の問題をお聞きしたい。

町長 期限は、その策定の段階で協議することになる。質問者 菅野、山口、小田中、岩崎、南、藤守議員 (賛成多数)

### 討論

山口議員から「保育に対する支援策について根本的な改正・改善がなされる以前に父兄負担に通じるこの様な保育料の引き上げについては時期尚早である。住民に対する理解を求めても無理があり、地方交付税の算入額を目安とすることについても結果的に保育料の引き上げにつながり住民として納得のいくものではない。」と反対討論がなされた。

美深町簡易水道事業条例・公共下水道事業条例・個別排水施設条例・給水条例の一部改正について  
消費税法の総額表示方式の義務化に伴う条例改正であり、原案どおり可決された。(全員賛成)

### 条例の廃止

美深町立へき地保育所設置及び管理に関する条例等の廃止について

この条例により、「美深町へき地保育所設置及び管理に関する条例」「美深町開拓功労者ほう賞条例」「平成10年度における寒冷地手当の額の特例に関する条例」の3件の条例廃止が提案され、原案どおり可決された。(全員賛成)

### 町道路線の認定、変更及び廃止

2路線の新規認定、5路線の変更、1路線の廃止の内容であり、原案どおり可決された。(全員賛成)



## 議会を傍聴してみませんか

平成16年第2回定例会は6月中旬に開かれる予定です。

# 補正予算

## 一般会計

今回の補正の主な内容は国保税所得軽減分繰出金500万円、進行性筋萎縮症措置費300万円の追加と各事業の精算による減額により予算総額56億7917万円となった。

### 主な質疑

質問 COM100 運営費288万円減額の内容は。

教育次長 文化財団事業補助、入場料収入等で70万円の増、支出では公演料、宣伝費で118万円の経費節減、自主事業全体で100万円が取り組めなかったことによる減額。

質問 職員給与と費の時間外勤務手当で700万円の減額理由は。

総務課長 時差出勤・スタッフ制により、当初予算の6割前後程度で収まる見込み。質問 スキー場、プール、体育館の光熱費減額理由は。

教育次長 スキー場は、圧雪時間の減による減額。プールは、恩根内プール

屋根改修による開設時期の遅れ、夜間開館時間の減少。体育館は、1月までの実績により減額。

質問 知的障害者グループホーム運営事業補助金で国庫補助金の追加、道補助金で減額になっているが、補助金が振り替ったのか。

質問 施設利用障害者支援費383万円減額は、制度改正による不徹底な点はないのか。

保健福祉課長 当初国の補助がなく道費補助4分の3を計画。今回道の補助が4分の1、国が4分の2の配分が決まったことからの追加、減額の補正をする。質問 介護予防生活支援事業は実績を見ながらの減額。質問者 斉藤、藤守、諸岡、山口、林議員（全員賛成）



開設されたグループホーム・共同作業所

### 国民健康保険特別会計

主な内容は、一般被保険者療養給付費及び高額療養費の増による補正である。歳入歳出それぞれ316億9万円を追加し、総額6億782万円となった。

（賛成多数）

### 老人保健特別会計

医療給付費の増による補正で、歳入歳出それぞれ2512万円を追加し総額7億7786万円となった。

（全員賛成）

### 介護保険特別会計

保険事業勘定で一般管理費30万円を減額し、総額4億3578万円となった。

介護サービス事業勘定で老人福祉施設一般管理費89万を減額し、総額2億4686万円となった。

質問 寄付金20万円ほど予算にあるが、病院なりを見ても廃止しているがどういう性質のものか。

町長 特養の寄付は強制するものではないが、好意を拒否するものでもない。質問者 林、倉兼議員

### 下水道事業特別会計

個別廃水処理施設設置の工事請負費の減額により、予算総額から歳入歳出それぞれ576万円を減額し、総額2億7472万円となった。

### 簡易水道事業特別会計

職員手当等の減により、予算総額から歳入歳出それぞれ30万円を減額し、総額4778万円となった。

### 水道事業会計

収益的収入及び支出の水道事業費用補正後予定額は、8457万円となった。資本的収入及び支出の資本的支出補正後予定額は6954万円となった。質問者 倉兼議員

（全員賛成）

# 請 願 意 見 書

## 採択されました

酪農・畜産政策・価格対  
策に関する意見書の提出に  
係る請願書

請願者 北はるか農業協  
同組合

組合長 木下 一己  
紹介議員 倉兼 政彦

遺伝子組換え作物の栽培  
規制に関する請願書

請願者 美深消費者協会  
会長 奥野 和子

紹介議員 藤守千代子

## 意見書を提出

今定例会では、3件の意見書を可決し、各省庁に提出した。

(意見書の内容は、紙面の都合上、要約し掲載する。)

酪農・畜産政策・価格対  
策に関する意見書

北海道の酪農畜産は、わが国における食料の生産・供給基地として大きな役割を果たしている。

しかしながら、WTO農業交渉やFTA交渉など国際化の進展が不可避の情勢であり、本年が最終年となる畜産環境整備への対応など解決が必要な課題が山積している。

つきましては、新たな食料・農業・農村基本法における自給率目標、生産努力目標の実現に向け、経営の安定が図れるよう、「酪農肉用牛近代化計画」の着実な達成と安定的な生乳生産に向けての総合的な施策の展開について要請する。

提出者 今泉議員  
賛成者 村山・宮岡・林・

南議員

提出先 衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・農林水産大臣・財務大臣・経済産業大臣

遺伝子組換え作物の栽培  
規制に関する意見書

北海道の農産物はクリーンなイメージが定着し、大きな信頼を得ている。しかし、近年、遺伝子組換え作物がアメリカやカナダなどから輸入され、安全性に対する不安感を抱いている。

遺伝子組換え作物の花粉や種子の飛散により自然環境等への影響が懸念されている。

こうしたなかで、道内においても遺伝子組換え大豆やイネの試験栽培が開放系ほ場で実施されている。

北海道は、条例で遺伝子組換え作物の栽培を規制する方針を表明していますが、条例には、開放系ほ場での遺伝子組換え作物の栽培が行われることがないよう条文に盛り込むことを要請する。

提出者 今泉議員

賛成者 村山・宮岡・林・南議員

提出先 北海道知事

町村財政の確立強化に関する意見書

町村が自主財源の乏しい中、自主的・自立的な財政運営を行っていくには、三位一体改革実現と地方分権時代にふさわしい地方財政基盤を確立することが課題であり、次の事項の実現を強く要望する。

一、地方税等の自主財源の

強化

二、地方交付税改善充実

三、財政の健全化促進

四、地方債の改善充実

五、国庫補助負担制度の改善合理化

六、地方公営企業の経営の健全化

提出者 藤守議員

賛成者 倉兼・山口・越智・岩崎議員

提出先 衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・財務大臣・総務大臣

## 選挙管理委員に 次の方が当選しました

任期 平成16年3月25日～平成20年3月24日



佐藤 孝仁 氏  
(東2南5)



毛利 伸行 氏  
(東6南4)



杉田 文枝 氏  
(字美深845)



大塚久美子 氏  
(大通北3)

## 補充員には次の4氏が当選

・高附 功 氏  
(恩根内21)  
・菅原 静子 氏  
(西2南4)

・本平 征行 氏  
(川西16)  
・世継 導子 氏  
(北町11)

# 質 問



質問事項  
1、地籍調査の結果について

酒井 議員

## 地籍調査結果の 疑問点について

質問 地籍調査後、西1条南3丁目の境界が大きく変わっているが、地籍調査においてこの様な処理が可能であったのか。

町長 境界決定の基本は、現況主義で決定しているもので、所有者が同意のもとで決められた境界が最終的なもの。

処理の仕方として可能。

質問 地籍調査後、西1条南2丁目5番の2、3丁目1番、7の3、7の4、7の5は、調査後面積の異動があったのでは。

町長 地籍調査前の図面を見ると確かに西1条南2丁目8番の2から8番の6まで道なりに分筆されていたが、調査後の土地の増減、異動はなっている。

図面にあった土地が存在していなかったと処理されている。

質問 西1条南3丁目の字の区域が変更になっているように思われるが、事実関係は。

町長 西1条南3丁目8番

の2から6まで道路なりに分筆されていたが、土地5筆は存在していなかった。字界は、大きく変更したものではない。

質問 調査後の西1条南5丁目5番の11は5番の12に合筆したことになっているが、又、隣の6番の6が町道を挟んで6番の9を合筆されているように思うが、この様な用地処理が出来るのか。

町長 この状況は確かに通常ではないと思うが、土地所有者の希望と同意で処理



岩崎 議員

質問事項  
1、「協働」という言葉に象徴される新しい公共空間の創造について

された。

質問 地籍調査後、西1条南3丁目6番の1、7番の7は合筆があったとはいえず、逆にここに入り込んでいた河川敷がなくなっているが理解されているのか。

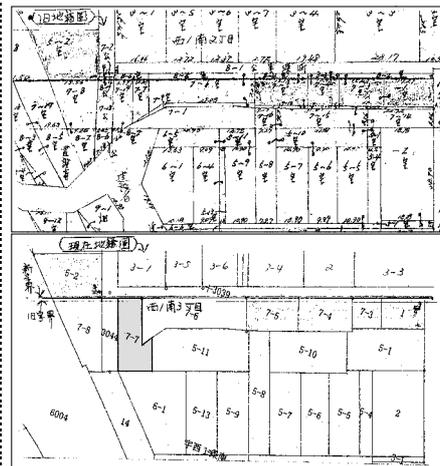
町長 基本的には、大変難しい。

西1条南3丁目の14番は仮地番雑種地で同意されている。国には台帳も何もないのでこの結果に

質問 今回も、私のテーマ「町に夢と元気を」を源に一般質問に臨みたい。平成16年度美深町政執行方針に、「経済財政運営の厳しい状況と、少子高齢化社会、高度情報社会、環境重視社会への移行」を挙げ、地方分権型の新しい行政システムの構築に向けて地方自治体は大きな転換期に直面していると述べ、さらに、「住民と行政が話し

## 『協働』のイメージと 公共のあり方

質問 今回も、私のテーマ「町に夢と元気を」を源に一般質問に臨みたい。平成16年度美深町政執行方針に、「経済財政運営の厳しい状況と、少子高齢化社会、高度情報社会、環境重視社会への移行」を挙げ、地方分権型の新しい行政システムの構築に向けて地方自治体は大きな転換期に直面していると述べ、さらに、「住民と行政が話し



上図は旧地番図、下図は現地籍図

なったのではないかと。質問 理解できないので私なりに町長の答弁を基に調査する。

合い協働するなかで、それぞれの役割と責任を持った一体となったまちづくりの推進」と表現されている。「協働」という表現は、最近あちこちで使われ初めている目新しい言葉だが、「協働」のまちづくりというのは、どのような中身なのか、どのような意味合いで、どのようなイメージでそれをとらえているのか。慣例を打ち破って新しい形のまちづくりを

町長 新しい「協働」とい

# 般



南 議 員

## 質問事項

- 1、美深町行政改革大綱・同推進計画について
- 2、平成16年度教育行政執行方針について
- 3、平成16年度町政執行方針における農業振興について



## 行革実施の評価は

質問 地方分権が実行段階に入り、地方公共団体の体質強化が求められることにより、当町においてこの大綱が策定され事務事業の見直し、民間委託の検討・推進、補助金の見直しを進めるものであるが、実行から2年が経過して現在までの評価と16年度における方針について伺う。

## 大幅な行政改革に

努力

町長 平成14年度から第3次行政改革計画を進め平成16年度で3年目を迎え、一応、当時考えた計画は予定通り進んでいると思う。その後、国の財政的な問題もあり、さらなる行革をしなければならず補助金削減、人件費減額、経常経費の節約はしているが、今後は住民負担をどう求めるか公共施設の管理運営、使用料も含めて、町村合併がどうあろうと大幅な行政改革をしなければならない。

う言葉を使わせていただき、時代は新しく変わると表現させてください。地方分権の時代、自己決定・自己責任のもと、町が意志をもって地域を作って



いく時代。住民参加の視点を今まで以上に持つことが必要である」と認識している。そこで、「協働」という新しい言葉を使わせて頂いた。

町民と町がそれぞれ果たすべき責任と役割と自覚を相互に補完しながらまちづくりをするというのが、基本的な「協働」の意味。

同じ情報を持ちながら、まちづくりをとともに考えることから始まり、住民と行政という互いの立場でそれぞれの事業を完成していく時代。

これからはNPO法人のような団体を育成しながら、住民からもまちづくりの提案をしてもらう。慣例を打ち破って、新しい形のまちづくりが必要であり、公共のイメージについても理想としては、このようなイメージで出来れば素晴らしい町になるのではないかと考えている。

## 学校施設の

## 将来構想は

質問 学校施設の老朽化と少子化による児童の減少から、将来統合した学校建設計画はあるのか。

また、それに伴う小・中高一貫教育の必要性は。

## 総合的構想をつくる準備にしたい

教育長 16年度からいろいろな角度で将来の方向性、町の人口や児童数、町の将

来像、今後の町づくり、都市計画の中の学校の配置などの総合的な構想をつくる準備作業に入りたい。具体的な構想や学校の建設計画は今のところないが、学校の施設現況からみると小中一貫教育なども視野に置いて将来に向かって検討していく。



改築も検討される美深小学校



山口 議員

質問事項

- 1、自治体には「住民の暮らしと福祉を守る責任がある」
- 2、市町村合併問題について

基金の活用などで

町民の暮らし守れ

質問 町には現在25億円強の基金（貯金）がある。財政難を理由に町民にガマンを強いるのではなく、この際、基金を有効活用して町民の暮らしを守る予算に。ごみ処理有料化2300万円 町民税均等割値上げ1人1000円 国保税値上げ1戸1万円 高齢者バス代有料化1人2000円 保育料値上げ70万円、以上の所要経費合計3950万円は、基金から僅か1・5%繰り入れることで財源確保できるのだから。さらに次の3事業については町民からの切実な要望とは考えられないので執行を見合わせるべきでないか。

びふか温泉地区パークゴルフ18ホール増設工事830万円 駅東地区宅地造成工事5000万円 役場総合窓口開設520万円。

**最小限の負担増なので理解願いたい**

町長 住民負担を上げないで予算を組めれば一番いい

ことだ。16・17年度だけを考えるとそれは可能だと思う。ただ将来的に事業を推進継続するためには、基本的に住民負担を十分に考えて進める必要がある。基金残高は平成16年末で21億円（1町民当り36万円）ほどあることになる。この基金をいかに活用しながら難局を切り抜けるか考えていかねばならないと思うが、やはり基金ばかり

使うのではなくて、住民もある程度の負担をいただくことも理解願いたい。高齢者バス代については一般町民との均衡を考えた。町民税均等割増は、地方税法の改正見込みによる。国保税は一般会計からの繰り入れを増額しての不足分である。新規事業のパークゴルフ増設は、入り込み客増が目的。駅東地区宅地造成（50



住民サービス向上を目指す総合窓口へ

第1回 臨時会

(平成16年1月26日 1日間)

条例の一部改正

美深町廃棄物処理及び清掃に関する条例の一部改正  
社会文教常任委員会に付託し、閉会中の継続審査とすることに決定した。

補正予算

次のとおり債務負担行為の補正が可決された。  
平成15年度一般会計補正

- 予算
- ・建物警備業務委託 1278万4000円
- ・建物機械警備業務委託

算

・建物警備業務委託 291万9000円  
下水道事業特別会計補正

- 予算
- ・浄水管理センター維持管理業務委託 2410万9000円

・建物清掃業務委託 107万1000円

- ・スクールバス運転管理業務委託 2118万円
- ・火葬場及び霊園清掃業務委託 408万8000円
- ・ごみ収集運搬業務委託 3099万6000円
- 介護保険特別会計補正

00万円)には3分の1の国庫補助があり、将来の人口増につながる事業だ。



# 「小さくても元気な 町村づくり」

## 長野県栄村の取り組み

現在の限られた地方制度、あるいは誤った経済政策のもとでも、がんばりようによつてはある程度やっていけるわけです。

ここでは長野県の栄村の話を紹介したいと思います。

栄村というのは、中山間の条件の不利地域にある山ばっかりの村です。雪が7

メートルも積もったこともあり、一年間に半年近く雪に覆われるようなところで、大変な条件のところでありまして、2600人近くの人が今住んでいるわけです。

昭和63年に高橋さんが村長になりました。まずやったのが「田直し事業」です。国の農水省の補助金事業をいれてしまうと、反当り200万円になってしまい、とても村で負担できないし、そもそも高齢化率が40%、高齢者が償還金を払い続けることができない。

何とか40万円に抑えた工事をやるうじやないかというところで考えついたのが、村単独の「田直し事業」です。どういうやり方をしたか。

村にUターンで帰ってきた建設業をやっている青年に求めてもらって、村の担当者、それから農家の方が田んぼに出ます。その現場で、どういう圃場にするかというのを決めます。これで設計料がタダです。そのうえで村の事業のオペレーター契約をする。工事発注じゃ

ないので。

それで反当り40万円の事業費に抑えて、しかも村は20万円分を負担しました。農家の方は残り20万円を1年据え置き5年で償還する。年間4万円ですが、事業当初の米の値段（ここはコシヒカリの産地で値段が高いのです）でいくと2億分でいけた。8〜10億とれ

る地域で2億返せばいい。これでしたら高齢者でも投資できるんです。

その上で高齢者に農作業しやすい品目、腰にこない軽量野菜、チンゲン菜とかほうれん草を村が補助金を出して奨励しました。初期投資も補助して栽培奨励しました。

その結果どうなっていっ

たのか。

栄村の農家1戸当りの農業粗生産額が1980年代は長野県の平均額175万円を下回っていた（150万円程）ものが、高橋村政になってからぐんぐん上がってきました。1999年には275万円となり県平均235万円を上回るようになっていきます。

### 議員投稿

今や全国を揺るがしている市町村合併問題、政府は自主的にと言っているが、私の目には強制的としか映らない。

合併をしない町村にはアメとムチ、ムチの方が強すぎるからだ。



倉 兼 議員

国からの交付税減額は、収入の大半を外からの依存財源に頼る我が町の財政運営は年々厳しさが増している。

住民生活の負担も増し、投資事業は減って働く場が無くなり、人口も減って過

疎に拍車がかかる。

地方を犠牲にした国の改革、都市中心の発想の改革には納得がいかない。

地方が駄目になれば都市も駄目になる。

地域周辺が衰退したら、その地域全体が衰退する。

## 町村合併に思う事

いのではないかなど、私が合併止むなしと判断した経緯である。

私は、都市中心的発想の町村合併には反対である。

しかし、自主財源が少なく、さらに人口減が続く過疎地域にある我が町、平成17年からの合併推進新法の

中身、住民の生活、行財政改革と近隣町村との連携等

問題特別委員会は、中川郡3町村合併を基軸に議論をしている。

合併しても地域住民が安心して暮らせる地域づくりが、共通の願いである。

# 住民のくらしを守る 新年度予算を審査

平成16年度美深町一般会計予算ほか6特別会計予算は、議長を除く全議員で構成する「予算特別委員会」(委員長諸岡勇、副委員長今泉常夫)を設置し、3月16、17、18日の3日間にわたり白熱した審査が行われた。審査の結果、一般会計予算他6特別会計予算は、いずれも「原案可決すべきもの」と決し本会議に報告された。

## 総務費

質問 美幸線代替輸送業務は、誰から見ても不合理なものを無駄に使っていると思われる。

早急に交通手段を検討すべきである。

町長 検討に入る必要については認識している。

質問 住民基本台帳ネットワークの情報漏れはないか。住民課長 情報漏えいの可能性は考えられない。

質問 総合窓口にする目的とこれによる住民サービス、利便性はどうなるのか。



諸岡予算特別委員長

総務課長 町民が来庁した時に極力職員が動いて一箇所です。一定のサービスを提供していくという考え。

質問 エレベーターの設置義務は。

助役 二階の会議室、議会の傍聴、お年寄りや足の不自由な方に利用されており、エレベーターは必要と考えている。

質問 納税貯蓄組合報償金は、廃止を含めて考えてよいのではないか。

助役 廃止を含めて16年度中に検討する。

質問 団体の負担で行っている太田市との交流を町全体で考えるべきでは。

助役 公費をあてにするのではなく、団体や個人が太田市とのつながりを深めていくものについては協力、支援していく。

質問 貸付業務が北洋銀行美深支店からなくなるとい

う話だが、事務事業の継続を求められたい。

町長 4月から大きく支障ないようにすると言っている。様子を見たい。

質問 平成15年でなくなる定住環境促進事業を17年度に向けてこれに代わる事業の展開が必要ではないか。

町長 17年度に向けてどういう定住対策をするか検討したい。

質問 コピー機の賃借料を下げる方策を考えるべきでないか。

総務課長 経費の節約はOA委員会で研究して18年度をめどにプリンターの環境を変更したい。

質問者 倉兼、菅野、越智、藤守、南、酒井、山口、岩崎、斉藤委員

## 民生費

質問 児童福祉法の一部改正、次世代育成支援対策推進法による計画策定の手順、体制は。

保健福祉課長 次世代育成の支援計画は策定委員会を設ける考えだが、現在ニーズ調査を実施している。

質問 障害者共同施設運営



費補助の予算措置の内訳と考え方は。

助役 初期開設準備で50万円、運営分で50万円。

開設分は次年度以降考えていない。

質問 生ごみの運搬に町から補助の形で運搬費は出していないのか。

助役 のぞみ学園は、自主的に回収、収集経費は出していない。

質問 子供の育成を考えると保育所の経費を削ることは考えられないか。

保健福祉課長 恩根内保育所の完全閉鎖に伴い、職員3人の賃金、燃料費等の減額が原因となっている。

質問者 小田中、斉藤、岩崎、藤守委員。

用語解説 ※OA委員会～役場内のOA機器等の導入に係る職員による内部研究組織。

## 衛生費

質問 救急医療体制で地域間の連携、医師の補充、さらには、救急ヘリの対応は万全なのか。

助役 病院間の連携には万全を期している。

緊急ヘリの対応も協議会を通じて考えている。

質問 分別が増えた分ゴミ袋が新たなごみになる。

環境基本法の原則は、ごみを作らない、出さないが主眼、整合性をどう考えるか。

住民課長 最終的にごみになるのは一般廃棄物。

再資源化のごみの袋はリサイクルに。

質問 新たな紙の分別収集での推定量は。

住民課長 36トン程度。

質問 紙類ごみはかなりの量だが、家畜農家の敷き料として利用出来ないのか。

助役 今後の検討課題。

質問 資源ごみの収集、処理にかかる経費と処理の収入は。

助役 資源ごみ収集処理の経費は、総体で780万円。

空き缶等の売却代金は1

04万円。

質問 生ごみの処理方法の実験的取り組みは。

助役 ディスポージャーについては試験データを十分吟味し検討。

ダンボール箱での処理は消費者協会の普及に期待。

質問 リサイクルセンター横に資源ゴミを回収する施設が出来ないか。

助役 袋を極力再利用するために前向きに検討。

質問 収集業務委託料の予算と落札金額に大きな差があるが積算等に問題点は無いのか。

町長 差額は賃金単価。指定した業務を安い落札価格で発注するのは当然。



リサイクルセンター作業風景

質問者 宮岡、倉兼、岩崎、南、藤守、越智、菅野、村山、山口委員

## 労働費

質問 労働状況実態調査報告書の資料では、調査対象

135事業所中、23%が退職金制度がないが、行政としての対応は。

助役 商工業従業員退職金共済に一定の施策として奨励補助金を計上している。

質問者 山口委員

質問 白樺樹液まつりの補助が本年度観光費での補助対象になった理由は。

助役 対象になった理由は、商工観光対策室長 昨年度までは住民活性化事業で実施していたが、本年度は地域活性化で町の特産品のPRとして観光費で計上した。

質問 SUN21の暖房の微調整が効かないが、改善が必要では。

商工観光対策室長 昨年、暖房機の改修をしており、温風吹き出し口の方角を変えるなど一定程度改善されたが、更に調査を進めたい。

質問 びふかアイランドの

多目的広場内にパークゴルフ場の設置830万円を計上している考え方は。助役 びふかアイランドの入り込み客の増につなげていく考えである。質問 パークゴルフ場の件は大いに議論をすべきと議会でも異論があるが。町長 議会共々、十分協議して進めていきたい。質問 カヌー委託事業の20万円の内容は。商工観光対策室長 びふか温泉に委託しており総体の経費と歳入の差額を計上している。質問者 斉藤、藤守、今泉、越智、南、菅野、倉兼、岩崎委員

## 農林産業費

質問 シストセンチュウ対策を18年度で打ち切りとの説明だが影響調査しているのか。

産業課長 全地区を調査し、現在、仁宇布に若干見られるが殆んど増殖していない。

質問 家畜排泄物処理法が今年11月完全施行されるが、未整備農家25戸の対策は。

産業課長 ふん尿処理のリー

事業延長を道に要請しているが、班溪の堆肥施設を利用しながら対応できない所は簡易シート等で対応してもらおう。



びふかアイランド

質問 営農対策協議会と普及センターのあり方について。

産業課長 年次ごとに運営を見直し横の連携をとって事業を進めたい。

質問 農業振興センターのあり方について。

産業課長 加工施設を利用し農産物の付加価値を高めるため農産物の加工を保健所の許可を得て女性グループが今年から加工販売する。

質問 基幹野菜振興特別対策事業補助金について。

用語解説

※ディスポージャー～生ごみを粉碎して下水道へ流す機械。

※シストセンチュウ～ジャガイモの根から養分を吸収し生育不良をもたらす土壌中の害虫。

産業課長 アスパラ増収対策として2000tを20haに供給する予定である。

質問 町の特産品としてのチョウザメのPRが足りないので。

助役 大々的なPRの為に供給体制の確立を検討する。

質問 林業における間伐材を家畜敷き料に活用しては。

産業課長 森づくりセンターが家畜農家を調査し、敷き料不足は認識しているが、事業展開を各関係機関、農家と検討していきたい。

質問者 山口、倉兼、今泉、林、藤守、岩崎、村山、越智、南、酒井委員

## 土木費

質問 町営住宅の雪庇問題、雪庇が巻く時期の2月上旬に指導出来ないか。

建設課長 十分指導したい。

質問 駅東地区公住の屋根のひとつ冬過ぎての具合は。

また、16年度に南団地に建てる公住の設計内容は。

建設課長 東地区の公住の雪庇は、前にできるのが平屋建ての欠点。

16年度に建てる東地区の3棟とひまわり団地の2棟

は形的にはほとんど変わりはない。

質問 観光地アクセス路安全対策景観整備事業は緊急雇用対策推進事業で行われるが、他に雇用対策推進事業はあるのか。

助役 観光地アクセス路整備事業(松山湿原への道路整備)のほか農林産業費の排水路台帳整備と林業費の枝打ちがある。

質問 地域活性化居住基盤総合整備工事の整備内容は。

建設課長 1・3haを12区画に整備し、200坪×300坪程度の大型区画で造成、道路、上下水道を配備し若干の緑地も整備する。

質問者 村山、倉兼、藤守、宮岡、林、斉藤、今泉、岩崎委員

## 消防費

質問 署長・団長室は1階にあるべきで、職員を指揮するため職員と同じフロアを考えるべきではないか。

町長 団長・署長室は同じ2階にあるので直ちに改造は考えていない。

質問 一部事務組合の仕事は、総務的・企画的な仕事。

消防長はなぜ名寄市から決めているのか。

町長 出発点が、全国的に交付税の加算を予測した一部事務組合であり、名寄から本部を移すことは無理だが、人事異動で消防長が美深から出る考え方も良いではないか。

質問者 倉兼、藤守、菅野委員

## 教育費

質問 備品購入は机・イスの説明だが、東京都の小学校の学童机は一年生の時に高さ調整できる机が与えられ、卒業時に記念として持たせる報道を見たが、今回はどういう机をどの学年に購入するのか。

教育次長 机・イスについては、図書室のイスが傷んでいるので更新したい。

将来に向けて対処したい。

質問 教育施設の整備基本構想委託料300万円の考え方は。

教育次長 学校が老朽化しているので、全体の構想ができるようコンサルに委託したい。



総合的整備が待たれる学校施設

## 国保会計

質問 不況と減収に苦しむ町民にとって、国保税1万円の値上げは無理だ

福祉のまち宣言の町らしく配慮されたい。

町長 住民負担を最小限に抑えたいが、基金が無くなった今年度は、町民全体の負担の均衡からみて加入者に負担いただくことが当然と考える。

質問者 山口委員

## 水道会計

質問 人体に影響があるとされる石綿管の残存部分と対応状況、施設の老朽化と改修についての考えは。

上下水道室長 水源池から浄水場までの導水管2400mとJR横断部の配水管107m、配水管は逐次改良を進める。

建設課長 施設の老朽化では、浄水場が38年になり耐用年数50年とすると、あと10年は補修しながら維持していきたい。

質問者 倉兼委員

# 歳入

## 総括質疑

質問 町民税均等割は法的に値上げするのか。

財政課長 任意のものだが理解されたい。

質問 町税徴収率を99%と見込んでいるが可能か。

財政課長 従来の決算状況から見て見通しはある。

質問 償却資産における家畜ふん尿処理施設等の割合と減額措置される額はどれくらいか。

財政課長 税額で475万円ほどで減額は277万円である。

質問 公住の車庫及び駐車場は何件あるか。

また、有料なのは何%か。

建設課長 車庫付が79件、駐車場のみは41件、すべてが有料で年額160万円。

質問 公住の家賃階層の比率はどうなっているか。

建設課長 家賃階層別の戸数は次のとおり。

173戸、21戸、11戸、7戸、7戸、4戸、6戸、2戸の8段階になる。

質問者 山口、林、倉兼、今泉、藤守委員

質問 駅東地区宅地造成の関連で、将来的に鉄道を横断できる歩道橋・自転車路を計画してはどうか。

町長 どのように道路をつけるかということも含めて、総合的な宅地計画はこれからだ。

跨線橋を造ってもさっぱり利用されないのではうまくない。

17年度以降の計画で、市街地と東側との交通アクセスをどう整備するかを含めて検討に入っていくだろうと思う。

質問 ごみ有料化の予算審議の最中であるのに、審議中の新料金等が明記された「新ごみ問題の冊子」がすでに作られていることはおかしいのでは。

住民課長 条例改正が今定例議会の初日に議決され、それから発注という形になる。

発注はしているがまだ出ていない。

質問者 酒井、林、岩崎、山口、藤守委員

## 一般・国保会計 反対討論

### 住民に痛みを押し付けるもの

住民自治の基本は、住民のくらしと福祉を守ることにあるが本予算の前身は、財政難と住民負担の公平化ということで住民に痛みを押し付けるものである。町民税均等割りの100

0円値上げ(180万円) 高齢者バス代20000円の有料化(100万円) ごみ処理有料化、1戸70000円(2300万円) 幼稚園保育料11000円値上げ(70万円) 国保税1戸1万円値上げ(1300万円) 以上5事業の所要財源3950万円については町の



山口委員

基金25億円の一部を取り崩して充当せよ。また新規事業として計画している駅東地区宅地造成工事5000万円、及びアイルランドパークゴルフ場増設830万円は住民要望に基づくものとはなっていないので執行を見合わせるべきだ。以上の理由で反対する。

## 一般会計 賛成討論

### 十分議論した 予算案

白熱した予算案の審議だった。激論になった要因は、厳しい財政状況にあると認識している。

町民税、法人税が共に減収の状態では、住民の要望すべてに答えるということには至難の業と痛感した。

高齢者バス代について町側が10月までに議論を尽くすと言うので了解。ごみの有料化について、私も住民が排出方法を工夫することも大事。

幼稚園保育料の値上げに對しては、次世代育成支援行動計画のなかで大いに議論していただき良い方向に進めていただけるものと確信。しかし、この予算のなか



藤守委員

では今日までの支援や仕組みが見直された部分がある。それには、予算がより良い方向で活用されるよう職員も町民共々努力していかなければならないと感じた。私はこの3日間で十分議論を尽くしたので、地域でも予算について説明できると思っっている。以上賛成の立場での討論とする。

# こんなことを 調査しました

## 委員会レポート

### 総務常任委員会

調査事項 行財政改革の  
取り組みについて

調査月日 2月10日  
調査内容

行政改革推進計画をもとに15年度の実績と今後の課題について調査した。  
(1)事務・事業等の整理合理化に向けた職員の提案制度の取り組みの現状  
職員の仕事の改善・意識改革と住民サービスの向上をめざす目的であり、現在応募11件で採用は7件である。  
行政評価システムについて  
事務事業評価はこなせるが政策評価は5年から10年が必要、試行的に出来ないか検討中だが基本的には必要なシステムと捉えている。  
各種審議会、協議会等の統廃合について  
任期満了時に随時見直しを検討しているが、自治法上規定されている組織は置かなければならない。  
(2)住民給付サービス・施設

使用料等の見直しについて  
施設使用料等は財政事情を考慮し見直しを行う。  
高齢者バス料金は一部負担で16年度に取り組む。  
各施設使用料は目的に添った見直しを16年度に検討する。

(3)施設運営、管理、業務管理等の委託について  
現在、委託事業を進めているが内容の見直し等を16年度から積極的に取り組む。  
地方自治法の改正により公共施設指定管理者制度が盛り込まれる予定、条例を改正し委託業務の充実を図る。  
(4)行政改革における職員配置について  
職員の削減はしているし、臨時雇用者の長期化はない。  
時間外勤務手当の計上は、突発的な業務のみの対象である。  
今年度は総合窓口としてカウンターを改修し、住民サービスを強化する。  
また、住民相談の場を設けたい。  
調査のまとめ  
行政改革は、公平性は当然で、住民負担増等に対し

て時間的余裕と対話を大切に  
透明性のある改革が必要。  
16年度に窓口業務のカウンター改修と相談スペースが設置されるが、住民が利用しやすい改修を望む。

### 社会 常任委員会

調査事項1 リサイクルセンター運営状況とゴミの  
処理について

調査月日 2月3日  
調査内容

(1)炭化ゴミについて 住民からは週1回の収集を週2回に出来ないかとの要望がある。  
(2)リサイクルセンターの運営について 12月より新センターで運営されている。  
今までは、ビン・ペットボトル・缶・雑誌ダンボール等は受け入れていたが、今は持ち込めないのが実態である。  
調査のまとめ  
(1)リサイクルセンターの運営状況は、環境も良く作業効率も向上され大変良い。  
(2)リサイクルセンター場内



に資源ゴミの直接搬入の検討を要する。  
(3)住民へのPRにリサイクル製品等の展示も必要。  
(4)作業員の騒音対策が必要。  
調査事項2 人工透析者の状況についてほか  
調査月日 2月13日  
調査内容  
(1)美深町の人工透析者数  
現在、町内では、13人、近隣の音威子府村2人、中川町1人は名寄市立病院に通院、枝幸、歌登、雄武からも同病院に通院している。  
町の人工透析者は、11年以降1人ずつ位増え30代〜40代の人もいる。

(2)人工透析施設の取り組みについて

透析の必要面積：114 m<sup>2</sup>が必要

ベッド数：5床が必要

施設整備及び機器購入費

：約7000万円

透析必要職員数：医師1人、看護師2人、臨床工学士1人

人工透析の場所：確保されている状況

調査のまとめ

(1)当町に13人の人工透析者があるが、毎年増加傾向にある中、若い層にも及んできているので町としての対応が必要。

(2)患者は名寄・土別へと通院しており、本人、家族の負担は大きい。

透析前後の体調が不安定であり、通院の負担緩和が緊急の課題。

(3)人工透析施設は、美深厚生病院の2階に設置可能であり、患者の増加も予想すると5ベッドは必要、整備費用は概算で7000万円。収支見込みは、当分赤字運営となり課題は多いが、早期開設を厚生連に要望する時期が来ていると判断。

## 産業常任委員会

調査事項 米政策改革大綱・地域水田農業ビジョン

策定の取り組み状況

調査月日 2月9日

調査内容

国が示す米政策改革大綱に基づく「美深町水田農業推進協議会（会長木下一己JA北はるか組合長）で策定された。

策定内容は次のとおり

(1)水稲の推進

現在の生産面積243ha

（加工米除く）を維持するために、減農薬栽培による高品位のもち米生産と、施設野菜の導入による複合経営の推進を図る。

減農薬栽培の確立

良質米の安定生産

産地指定確保と安定供給

産地評価基準に基づいた

生産数量の配分

品質の統一・均一化を図

るため集団施設・ライススター

ミナル利用の促進により売

れる米作りを推進

(2)転作の推進

土地利用型作物と施設野菜及び耕畜連携による複合経営をめざす。

アスパラ・メロン・イチ

ゴ・サヤエンドウ・小麦・

小豆・甜菜・南瓜・飼料作物を振興作物とし、作付推進と販売促進を図る。

(3)交付金の使途

交付単価は今後検討する

が、激変緩和措置として当

面は振興作物以外の一般作物に対しても交付する。

担い手への農地の賃貸に

対し交付

振興作物に交付

加工米生産に対して交付

減農薬米栽培に対し交付

(4)産地づくり対策に於ける

担い手の明確化

担い手基準の設定と担い

手リストの作成。

概ね64歳以下の生産者。

64歳以上であっても、20

歳以上の後継者がいる場合、

10ha以上の水田を所有する者。（認定農業者資格は

10ha未満でも可とする）

地域の合意により水田経営の担い手として認められた者。

(5)農業水利施設の維持管理

農業水利は、今後新たな

管理、負担ルールの合意形

成と維持管理コストの抑制

を図るため合理的な水利用

管理の省力化等システム構築

の実現を推進する。

調査のまとめ

米政策改革最大の柱は、生産調整助成金に代わる産地づくり対策としての「美深町水田農業ビジョン」と理解し、今後、高齢化が進み後継者不足が加速する中、地域連携システムの推進、共同経営・法人化に向けた取り組みの対応が求められる。

また、明年度に向けてはいろいろな課題を抱えながらも、米の販売状況や後継者数などの現状を分析した上で、地域の特性・水田と畑地の明確化などの議論が必要。

## 議会運営委員会

1月26日

第1回臨時会で審議する

議案の取り扱い、会期及び

議事日程について協議した。

3月3・10・15・18日

第1回定例会で審議する

## 合併問題調査特別委員会

上川北部6市町村任意協議会解散と前後して3回開

催された。

・1月14日第12回開催

上川北部6市町村長会議

の結果。

・2月18日第13回開催

合併調査特別委員会幹事

会の協議結果について。

・3月19日第14回開催

他町村との今後の合併に

関する町理事者との意見交

換。

## 広報特別委員会

3月15日・4月5・8日

15日

議会広報第49号の発行に

向け、編集会議及び起稿・

編集・校正の作業を行った。

# 私からの Message



吉野自治会  
荒谷 和江

私が美深に嫁いで早30年、楽しかったこと、苦しかったこと、いろいろな出来事がたくさんありました。農作業に、子育てに追われ忙しい毎日を過ごし、気がついてみると私も半世紀を過ぎてしまいました。子育ても終わり自分の時間を大事に使いたく、何か目標を見つけていきたいと思えます。自然がいっぱいで暮らしやすいと思えますが少々元

気がないのが気になります。抱い手問題や高齢化問題など沢山の問題が山積みだと思えます。そのためにも若い人達の力が必要で、若い人達の力が感じられた時には私たち老若者（中高年）は頑張る力をいただけるのではないかと思います。「夢・希望・仕事」があり、安心して生活を送って

いける町政の促進を、町長さん始め議員さん、各関係機関が地域と協力しながら、住みよい美深町にしたいです。また、農業を真剣に取り組みたいと希望する人達には、私達ができる限りのことを協力していきたいと思っています。この町に愛を、自分の仕事に誇りを持ち健康な体に感謝してこの美深で暮らします。

## 「夢、希望、仕事」のある町政を



斑溪自治会  
菅野 福義

種々の息吹の春となりました。新一年生、我が子の成長に喜びと夢を託して学業に、また新社会人にと送り出す春、親子として家族として希望に満ちた季節であります。しかし、現実社会は鳥インフルエンザ・BSE問題、そしてイラクへの自衛隊派遣、あまりにも異なる現実不安は隠しきれない。

今日、一農業者として農業へ夢が実現するよう励みたいと思う私にも一言。安心安全な食物の生産に努力を重ね、生産された食品が知らぬところですり変わり、信頼を裏切る行為は、善良な人々の不信を招き裏切り行為であり、許すことのできない世の中となつて

純真一途に学び舎に通う子供たちや、将来に大きな夢と希望を抱いて新しい社会に旅立つ若人の希望が叶えられるような社会になればの一念であります。春の息吹とともに、新しい芽がはぐくむような夢と希望にあふれる町づくりのために、議員皆様のご活躍を期待いたします。

## 夢と希望を育て

## 編集後記

新年度になり、議会広報委員も新体制でスタートしました。

町政の情報公開、議会活動などをわかり易く、興味をもってもらえるよう町民の視点に立った内容に心がけ調査編集に取り組んでいきますので、町民皆様からご意見、ご要望お寄せください。

### 議会広報特別委員会

- 委員長 南 和博
- 副委員長 酒井 久夫
- 委員 山口 清
- 委員 宮岡 久夫
- 委員 小田中道雄
- 委員 岩崎 泰好

